

3. みんなが集う商店街に

まちの賑わいを取り戻すためには、とにかく人を集める工夫が必要であり、商店街を単なる商業ゾーンとしてだけでなく、まちなかの空き店舗などを「学びの空間（教室）」として活用し、健康づくり、カルチャー、大学の公開講座などの様々な講座を開設する「まちなかキャンパス」にするのも面白い取り組みであり、こうした取り組みに対し、行政の大きなご支援をお願いします。

また、商業者が取り組む販路拡大、新商品開発などの事業や、商店街が取り組む誘客促進・にぎわい創出事業などの意欲ある取り組みに対し、利用しやすい支援制度の創設を始めご支援を引き続き願います。

4. 世界に毎日繋がる港を目指して

大型クルーズ客船が入港可能な岸壁等の整備や国際フェリーターミナルの整備、各種大型クレーンの増設など、多様なニーズに対応できるよう港湾機能の強化をお願いします。また、荷主の確保と総合的利便性を高めるために、現在の韓国航路を世界に繋がるアジアのハブ港である釜山港に直結した「デイリーな航路」として充実・強化するようお願いする。

5. エネルギー政策が国の命運を握る

国には「景気的好循環」を実現するためにも、安全性が確認された原発の再稼働を主導し、納得のいく価格で安定した電力を供給する責務を果たしてもらわねばならない。

エネルギーコストを価格転嫁することが困難な中小企業の事業活動は、廃業を選択せざるを得ない等の深刻なダメージを被っており、安全基準をクリアした原発の再稼働は待ったなしの喫緊の課題である。

全国の商工会議所は強くその実現を求めており、国のエネルギー政策が正しく実行されるよう、地方からも「強い働きかけ」をお願いします。

舞鶴市への要望

去る10月27日、廣瀬会頭、江守副会頭、坂田副会頭、小西政策提言委員長、瀬川専務理事、西山常務理事が、舞鶴市役所に多々見良三市長を訪ね、「要望書」とあわせて、参考資料として、当所10部会から示された70件の「部会別の要望リスト」を手渡しました。

当日は、多々見市長のほか、馬場副市長、木村副市長、砂原産業振興部長、三浦観光まちづくり室長が同席し、要望の趣旨・内容を説明した上で懇談をいたしました。

多々見市長からは、「思いは一つである。要望いただいたことは常に意識しており、すでに着手しているものもある。それぞれの立場でしっかりと連携して課題解決に向けて一体となって取り組みたい。」との心強い発言をいただきました。

京都府への要望

同日の10月27日、瀬川専務理事、西山常務理事が京都府中丹広域振興局に金谷浩志局長を訪ね、山田知事と金谷局長あての「要望書」（参考資料として「部会別の意見要望リスト」を添付）を手渡しました。

当日は、金谷局長のほか、門農林商工部長も同席し要望の趣旨・内容を説明した上で懇談をいたしました。

金谷局長からは、「要望書の趣旨・内容については、地域の強い思いとして受けとめたい。また、山田知事にもしっかりと地元の思いを伝える。」旨の発言をいただきました。

